

## 先行事例調査候補の一覧

■平成20年度「新たな公」によるコミュニティ創生支援モデル事業

NO	都道府県	市町村名	団体名	事業名	活動概要	集落規模 対象	地勢条件		課題への対応			協力意向	採択理由
							離島	中山間地域	安心	元気再生	外部支援 の有効性		
1	福岡県	築上町・行橋市・北九州市・苅田町	築上町有機液肥固形堆肥利用者協議会	社員食堂でつながる循環の輪—都市と農村のコミュニティ創生構想—	し尿や浄化槽汚泥、生ごみ等の有機系廃棄物を肥料化し、その肥料をもとに生産した農産物を、排出元に買い取り消費してもらいシステムの構築。具体的には、築上町からも多くの人が働きに出ている北九州市や行橋市、苅田町の企業の社員食堂で排出される食品廃棄物を引き取り、それを肥料化し栽培した農産物を、もとの社員食堂に購入してもらうことを想定。				○ 有機系廃棄物の肥料化による農業振興	○ 都市部の企業と協働した都市型システム構築			
2	福岡県	太宰府市・筑紫野市	特定非営利活動法人 鴻臚・福岡城跡歴史・観光市民の会・特定非営利活動法人 太宰府ボランティアネットワーク(あるかね太宰府実行委員会)	市民参加の古代官道(西海道)調査・活用事業(西海道ルネッサンス)	貴重な国民的歴史・文化遺産である古代官道を調査、顕在化させ、整備・活用し、文化財の保護にとどまらず、観光・教育・地域おこし等に活用するとともに、「道」を通じ行政界を越えた連携への導火線にする				○ 古代官道を観光・教育・地域おこしに活用	○ 行政界を越えて「道」を通じた連携の構築	○ H19年度アンケートに協力意向の記述		
3	佐賀県	三養基郡基山町	特定非営利活動法人 きびつとの杜	地域資源を活かした持続可能なコミュニティ創生事業(通称:ゆいむすび事業)	中山間地域にあり、基山町内でもっとも世帯数(213世帯)が少なく数年で限界集落となる可能性の高い宮浦地区において、危機感を持った地区の住民が主体となり、孟宗竹の伐採、桜・つつじ・紅葉・クヌギなどの植樹、地元幼稚園の遊び場の提供、果樹オーナー制度の企画運営、休耕田の棚田の活用(合鴨農法による酒米を地元の造り酒屋でオリジナルブランド酒としその販売収益の10%を環境保全協力金として造り酒屋から寄付)や様々なイベント等の活動を展開。  新たな公の提案内容は下記 ① 地区の問題の顕在化のため、実態調査、アクション・ラーニング、ワークショップ等からカルテを整備し、農地の有効活用についてのビジョンとアクション・プランづくりを行う。「課題:休耕田の利活用による地権者の理解と協力」 ② 地区内のみならず町内外の住民、NPO関係者、県や市町関係者と地域資源再発見ワークショップを実施し、地域資源活用案の整理と試行のための「このゆびとまればプロジェクト」を実施し、問題点整理と具体化上での課題整理を行う。「課題:地域資源の再発見と活用」 ③ 対象地域にある建築資源を活かした活動拠点づくりを行うためのプロセス設計、積算、人材確保、抵触する関係法令等の対応についてワークショップを実施し、実現に向けた環境負荷及び経済負担の少ない資金調達と維持管理方法についてアクション・プランづくりを行う。「課題:環境負荷及び経済負担の少ない活動拠点整備」。 ④ まとめられたアクション・プランや活用案から、持続可能なコミュニティのための経済活動として可能性の高いプランの検討と社会実験を実施し、問題点や課題整理を行う。「課題:持続可能なコミュニティのための経済活動の創出」	○ 基山町で最も世帯数が少ない集落	○ 中山間地域	○ 地域資源の再発見と活用と、持続可能なコミュニティのための経済活動の創出	○ 町内外の住民、NPO関係者、県や市町関係者と地域資源再発見ワークショップを実施	○ H19年度アンケートに協力意向の記述	高齢化が進む中山間地域において、地元行政と良好な関係にある地区住民中心のNPO法人が、里山保全や収益が計上される棚田の維持活動、各種イベント等を継続して行っている。 また、新たな公を利用し、ワークショップ形式で、地域資源の活用方法や持続可能なコミュニティのための経済活動を検討している。 この事例は、行政との協力関係構築と経済面を考慮した集落存続・再生の方法の点で、今後の参考となる。		
4	佐賀県	伊万里市	特定非営利活動法人 伊万里はちがめプラン	伊万里市川内野における黒米等の商品開発・環境に優しい生活の実践によるコミュニティ創生事業	伊万里市川内野は先進的な地域活性化の活動を展開しているが、中山間地域に起因する人口減少・高齢化の流れは止まらず、都市部のまちづくり活動とも連携し、一層の地域振興を図っていくことが課題となっている。このため、NPO法人伊万里はちがめプラン、川内野コメCOME倶楽部、地区住民、佐賀大学農学部染谷研究室、伊万里市のまちづくり・再生エネルギー問題を多数手がけている開発計画研究所、伊万里市等が協働して「安心・安全の食づくり」、「中山間地域における環境に優しい生活」等の構築・実現による新たなコミュニティ創生と、エコライフ体験・歴史ツアー客、伊万里出身者の移住誘導により交流・定住人口の拡大を目指している。  新たな公の提案事業 ① 黒米等農産物の商品開発・販路拡大事業 ② 食品廃棄物の堆肥・BDF事業 ③ 家庭排水浄化の社会実験事業 ④ 地域通貨・ハッチャーの活用 ⑤ 委員会の開催等		○ 中山間地域	○ 安心・安全の食づくりを推進	○ エコライフによる中山間地域における環境に優しい生活	○ 市、NPO法人、大学などが連携した地域活性化活動を展開	○ H19年度アンケートに協力意向の記述		
5	長崎県	小値賀町	特定非営利活動法人 おぢかアイランドツーリズム協会	ラーニング(学ぶ)・ワーキング(働く)型おぢか滞在・定住サポートシステムの構築事業	小値賀町は、主要産業であり第一次産業の疲弊と高齢化によって、20数年後には人口の半減が予想されているが、ここ数年Iターン定住者を中心としたNPO法人の体験型観光により他の離島には例を見ない目覚ましい成果を挙げ、「観光まちづくりの島」として世界中からも注目浴びている。小値賀町の今後の地域活性化は、外部人材の誘致・活用による解決が最も重要であり、島内での人材受け入れ側ニーズと都市住民側のニーズを明確化して、これをマッチングする仕組みを構築することで、小値賀島内に交流・滞在・定住する都市住民を獲得して行く。  また新たな公とは別の取り組みとして、小値賀町では福岡などの都市圏在住者や外国人富裕層を含めた観光客の誘致拡大を狙って、島内に残る古民家を修復して、「暮らすように滞在する」宿泊施設として活用する古民家再生事業を民間法人と協働で平成20年度から実施している。	○ 離島		○ Iターン定住者を中心としたNPO法人の体験型観光振興	○ 町としたNPO法人の協力による「観光まちづくりの島」	○ H19年度アンケートに協力意向の記述			
6	熊本県	八代市	坂本地域振興会連絡協議会	八代市坂本町集落交通機能編成事業	坂本町は、高齢化率が43%を越え人口の半数近くが65歳以上の超高齢化地域であり、生産活動はもとより社会的共同生活の維持さえ困難となった限界集落も全集落の30%以上を占める状態にある。また、広大な面積の9割以上が山間地帯であり、唯一の公共交通機関であるバス路線も全てが赤字廃止対象路線となって廃止寸前の状態にあり、日常的な医療、福祉活動をはじめとする住民生活や生産活動にも支障をきたしている。 このような状況の中で、住民自らの手による「過疎地有償運送事業」など新たな交通システムを導入し、集落交通機能の広域編成につなげるとともに地域コミュニティ組織の自立支援につなげる。  新たな公の提案事業 ① 各地域の交通事情やニーズを把握するために集落で現況調査を実施し、その解決に向けた具体的な方策を検討するための基礎資料とする。 ② 上記①の課題解決のための新たな運送事業を検討するにあたり、類似の先行事例を調査・分析し、各種団体や民間業者にも協力を依頼し、坂本地域にあった運送方法を2~3例選定し、一定期間の社会実験を実施し、利用者へのアンケート等を実施し事業の制度化に向けた課題の把握などを行う。 ③ ①及び②の検討結果を踏まえ、各種法や制度をクリアした新たな交通システムの社会実験を行うための準備を行う。	○ 中山間地域の高齢化した小規模集落がほとんど	○ 中山間地域	○ 「過疎地有償運送事業」など新たな交通システムを導入					
7	熊本県	人吉市	くまもと教育プロジェクト	笑顔でつなぐ地域の「宝」継承事業(地域の伝統文化を活かした担い手育成事業)	人吉球磨地域は、熊本県の国県指定文化財社寺建築の8割が存在し文化財の宝庫であるが、高齢化率は27.9%にのぼる。このため、伝統芸能、食文化、伝統工芸など、歴史や伝統文化の息づく地域でありながら、若年層を中心に地域の歴史伝統文化を知らない、関心がないという人々が増えてきており、次世代への継承が危ぶまれてきている。 行政、熊本県立大学、民間団体とで構成される委員会を中心に、当地の歴史文化、生活文化を「宝」として再認識するとともに、歴史伝統文化を次世代に継承していく担い手の育成と交流人口の増加を目指すための活動に取り組む。  新たな公の提案事業 ① 適正な地域伝統文化の活用(地域資源調査研究) ② ハンズオンプログラム・教材開発(人材育成講座を通じて、地域の伝統文化を生かすためにプログラムを開発) ③ 担い手の育成(人材育成講座) ④ 参加者によるNPO法人の設立 ⑤ 交流人口の増加に向けた情報発信			○ 歴史文化、生活文化を「宝」として再認識し、歴史伝統文化を次世代に継承していく担い手の育成	○ 行政、大学等との協力による伝統文化継承・交流人口拡大				

NO	都道府県	市町村名	団体名	事業名	活動概要	集落規模 対象	地勢条件		課題への対応			協力意向	採択理由	
							離島	中山間地域	安心	元気再生	外部支援 の有効性			
8	熊本県	天草市	特定非営利活動法人 ひと・学び支援センター熊本	再生された廃校を活用した高齢者地域のコミュニティ活性化支援事業	天草市牛深町の下須島は、669世帯、人口1,410人の島であるが人口流出と高齢化(高齢化率40%)が進行し、地区内にあった天附中学校が廃校となるなどコミュニティの活力低下が大きな課題となっている。また、地区内では、高齢者の「健康の維持」や「移動手段の確保」、「平日日中の非常時の対応」等の課題も抱えている。平成19年度には、地域福祉の向上及び市民活動の促進による地域の活性化を図るため、 <b>廃校であった旧天附中学校を多機能型複合施設(名称:南風ん風)として整備を行い、交流の場としての受け皿づくりに着手した。</b> <b>地域コミュニティ活動の活性化</b> にのたために、切実な地域課題を拾い上げ解決するように、H20年度からは課題解決に向けたヒト(人材)やモノ(地域資源)、コト(組織や活動)をつなぎあわせるための実践を行う。  新たな公の提案事業 ① 地域課題の発掘 地域課題を発掘するために、下須島内全世帯を対象に「高齢者化した地域住民の交流」「高齢者の健康・生活の維持」「移動手段の状況」「その他」の視点に基づいた地域における生活課題を調査するためのアンケートを実施。 ② 住民による地域課題解決のための仕組みづくりと共有 アンケートにより見出された地域課題をより多く語り合い、身近な暮らしレベルまで掘り下げて抽出し、島の将来像を踏まえた解決すべき課題を集約し、住民が主体となる解決策として出された様々なアイデアを連携さ、ヒト・モノ・コトをつなぎあわせたプラン作りを行うためのワークショップを行う。 ③ ミニ社会実験の実施・運営と地域住民によるふりかえり 地域コミュニティ再生に向けてのワークショップの話し合いから見出されたプランの中から、地域にふさわしい実践策を地域住民が主体的に選択したものをミニ社会実験として実践する。 <b>高齢者の交通移動手段を確保</b> するために、多機能型複合施設(南風ん風)を発着所とした <b>福祉移送サービスとデマンド型乗合タクシーを兼ね備えた「下須島お助け交通」</b> のモデル実験を一般乗用旅客自動車運送事業者の協力を得て、3回(1週間連続×3回:11月~1月)行う予定。モデル実験の終了後には、利用者からのアンケート(ヒアリング)を基に、その運営についての課題や継続的な実施に向けての方針決めに関して、再度、ワークショップを行い振り返る	○ 離島の高齢化した小規模集落			○ 地域コミュニティの活性化と高齢者の交通手段確保	○ NPOが廃校跡を多機能型複合施設に整備し、交流の場として活用				
9	大分県	別府市	特定非営利活動法人 別府八湯トラスト・特定非営利活動法人 セカンドライフ倶楽部	移住者によるまちなか居住推進モデル作り事業	別府市の中心市街地は少子高齢化や郊外部への転出により、市全域の人口が微減であるにもかかわらず平成8年末から平成18年末の間に約13.1%も減少した。このことが中心市街地の活力を失わせている大きな要因であり、その解決策として居住人口の増加が地域の課題であり、地域住民や自治体との連携も図りながら、 <b>移住者のまちなか居住推進モデル</b> を作り、地域課題の解決とモデル化を図る。				○ まちなか居住推進によるコミュニティ活性化	○ 行政、NPO、住民による移住者のまちなか居住推進モデル作り				
10	大分県	玖珠町	玖珠町商工会	地域資源再活用型地域連携事業	森地区は人口1,807名が生活するが、高齢化率34.7%と地域の活力がなくなりつつある。中世以降の史跡、町並み(街並み環境整備)や豊かな自然環境に恵まれた地区であり、大分県内に位置する日本一小さい <b>城下町の再生</b> と活力を取り戻して、 <b>伝統芸能・文化の伝承と農商連携</b> の新たな枠組みと <b>伝統産業の復活</b> による <b>街並み再生</b> を地域住民と共同で行う。				○ 歴史ある城下町の再生	○ 商工会による伝統文化継承と伝統産業復活による町並み再生				
11	宮崎県	綾町	特定非営利活動法人 木の家だ いすきの会	企業の社会貢献活動としての「森と都市の交流プロジェクト」開発	<b>綾の照葉樹林</b> を再生するための間伐や植林などの <b>森林ボランティア</b> と、 <b>地域資源を生かした生活体験型プログラム</b> を組み合わせた <b>交流事業</b> を実験的に実施する。それを評価することにより、今後 <b>CSR(企業の社会的責任)</b> 活動のひとつとして継続できるプログラムを開発する。		○ 中山間地域	○ 地域資源を活かした産業振興・交流推進	○ 森林ボランティアと生活体験事業による交流事業	○ CSR活動として活動できるプログラム開発				
12	宮崎県	延岡市	特定非営利活動法人 五ヶ瀬川流域ネットワーク	人がいつまでも創造性を持って「まち遊び」できる地域作り	延岡市の北東部に広がる東海地区は、かつて舟運基地として栄えた地域だが、過疎化高齢化の激しい地域でもあるが地域自身は区画整理がなされていないので、昔のまち型が残りに歩いて楽しい地域でもある。そこで <b>地域再生の手法</b> として「 <b>まち遊び</b> 」を創出し、まちの魅力をみんなの手でブラッシュアップしながら景観も修景し、 <b>歩いて楽しいまちから、滞在したいまちに育てていきたい</b>				○ 地域再生の手法として「まち遊び」を創出	○ NPOを中心に、地区を歩いて楽しいまちから、滞在したいまちに育成	○ H19年度アンケートに協力意向の記述			
13	鹿児島県	南さつま市	特定非営利活動法人 プロジェクト南からの潮流	元気集落「高齢化率60%」からの挑戦	南さつま市金峰町大坂地区は、 <b>高齢化率が60%を超える</b> 地域で、地域コミュニティの維持・存続があやぶまれ、田畑の荒廃や空き家の増加、担い手不足等の問題など様々な課題を抱えているのが現状であるが、当地区の長谷集落においては、平成18年度からNPO法人プロジェクト南からの潮流と地域住民が <b>都市住民との交流事業</b> を中心とした <b>共生協働事業</b> に取り組んでいる。 <b>歴史の伝承や自然景観の保全、地域資源を活用した地域間・世代間・都市住民との交流事業等の取り組みを通して元気な集落群のモデルを創出</b> することを目的に新たな公の事業を提案する。  新たな公の提案内容は下記 ① 大坂地区住民を主体とする大坂地区公民館と協働し、「これまで集落単位で活動をしていたそれぞれの地域を結び付ける」連帯意識を持つことを目的として自然木を活用した道標を設置する。 ② 都市が有しない自然景観や藩政時代の薩摩藩の坑口跡などの史跡を利用し、既存遊歩道と接道する遊歩道やトレッキングコース等を地域資源の間伐材を活用して、地域住民や行政、一般ボランティア等の協働により整備し、 <b>都市住民との交流</b> を促進する。 ③ のぼり窯設置による新たな人材づくりや物づくりに積極的に取り組み、新たな産業として段階的に育成していく。	○ 高齢化集落	○ 中山間地域	○ 歴史伝承や自然景観保全・地域資源活用による交流事業等により元気な集落群モデルを創出	○ NPO法人と住民による都市住民との交流事業を中心とした共生協働事業				○ 少子高齢化が進む中山間地域において、地域コミュニティの維持・存続に向けた、NPO法人と住民による都市住民との交流事業を中心とする共生協働事業が活発に行われている。 また、新たな公では、これまでの集落単位の活動からそれぞれの地域を結びつける活動を行っている。 この事例は、今後の集落と都市との交流の方法と、集落間の連携を検討する上での参考となる。	
14	鹿児島県	霧島市	福山町地域活性化協議会	町民運営による新たな活力生活圏形成事業	新市内の中で、特に <b>山間部等の旧3町(牧園町、霧島町、福山町)</b> では、 <b>平成37年には約30%の人口減少、40%を超える高齢化率</b> が見込まれ、山林の間伐や竹林の伐採の担い手がいない現状において、将来の山林の荒廃がいずれの町でも深刻な問題となっている。 <b>郷土への愛着育成、担い手づくり、環境保全の取り組みを20年間続けてきた、福山町のまちづくり団体(ふっぎやまぼっけもん会)</b> が、担い手不足による山林荒廃が進む町の課題解消に結びつけ、旧福山町全体の自立的な取り組みとしての枠組みを実現し、霧島市内で同様の課題を抱える他地域の自立的取り組みモデルとする。		○ 中山間地域		○ 20年に渡るまちづくり団体による郷土への愛着育成、担い手づくり、環境保全の取り組み					
15	鹿児島県	奄美市	特定非営利活動法人 ディ!	島(シマ)ラジオを通じた地縁型コミュニティ形成とシマに対する誇り・愛着の醸成	平成19年5月に「 <b>奄美大島</b> と島人が持っている多様な価値を島人自身が再認識する」、「人と人の繋がりが『結い』を大切に、シマの価値を創造する」、「次世代へ向けてシマの素晴らしさを伝える」ことを目的に島ラジオ「ディ! ウェイブ」が開局した。現在、奄美市および周辺部のみで放送されている <b>島ラジオ</b> をインターネット等の <b>ICTを活用して広域に放送し</b> 、居住地が遠く離れていることで失われつつある <b>地縁型のコミュニティを再生</b> するとともに、シマ(島・集落の意)の在住者と出身者双方による <b>情報共有</b> により <b>シマに対する誇り・愛着の醸成</b> を実現する。		○ 離島	○ 地縁型のコミュニティを再生	○ ICT活用により島ラジオを広域放送し、情報共有による島に対する誇りと愛着を醸成		○ H19年度アンケートに協力意向の記述			

■平成20年度 地域の元気再生事業

NO	都道府県	市町村	提案団体	調査名		集落規模 対象	離島	中山間地 域	課題への対応			協力意向	採択理由
									安心	元気再生	外部支援 の有効性		
16	福岡県	宗像市	宗像市	アジアへの発信、宗像の宝 ～観光を主体とした宗像産業振興プロジェクト～	地域産業が衰退する中、北部九州屈指の水揚を誇る漁業や苺・ミカンの特産品とする 農業、日本書紀に載る宗像大社等個々の地域産業・資源を複合させた漁業・農業体験型ツアーなど新たな観光プランの提供により、観光から農水産業まで幅広い地域産業の活性化を図る。				○ 観光から農水産業に至る地域産業の活性化	○ 行政による個々の地域産業・資源を複合させた新たな観光プランの開発			
17	福岡県	田川市	公立大学法人福岡県立大学	世界遺産をめざす旧産炭地・田川再生事業 一産・官・民・学が協働する保養滞在型エコツーリズムの実現	過疎化が進む旧産炭地において、産・官・民・学の協働により、炭坑の産業遺産の積極的活用と、地域独自の文化・自然との連携により、新たな観光や体験農業を展開し、観光客・交流人口の拡大を図り、地域の自力再生を進める。				○ 観光客・交流人口の拡大を図り、地域を自力再生	○ 産・官・民・学の協働による産業遺産の積極的活用と新たな観光や体験農業の展開			
18	福岡県	福岡市(東区・中央区・南区)	ジェイアール九州コンサルタンツ(株)『環境緑化を考える会』事務局	元気UPふくおか2008 ～学校まると緑化大作戦～	小学校区を地域のまちづくり・ひとづくりの基本的ユニットととらえ、小学校を日常的な住民活動の拠点とするため、その端緒として誰でも参加可能な「まるごと緑花」を進め、都市のコミュニティ再生を図る。				○ 小学校区を地域のまちづくり・ひとづくりの基本的ユニットとする都市のコミュニティ再生	○ 誰でも参加可能な「まるごと緑花」の推進			
19	福岡県	大牟田市	大牟田市医工連携・地域雇用創造推進協議会	産学官連携による福祉用具ものづくりの販路拡大のためのビジネスモデル構築実証試験	地域に所在する高等教育機関や地元企業を産学官連携の契機として捉え、高い高齢化率に直面する地域からのニーズをくみ上げた利用者本位の福祉用具・認知症予防玩具などの開発・製品化を進め、医療と工学の連携を通じた産業活性化・地域雇用の拡大を図る。				○ 高齢化する地域ニーズを反映した福祉用具・認知症予防玩具などの開発・製品化	○ 地域の高等教育機関や地元企業による産学官連携による産業活性化・地域雇用の拡大			
20	佐賀県	有田市	有田町地域活性化協議会	「食」と「器」の地域づくり	代表産業である窯業・農業が低迷する中、有田焼の旧有田町と農業の旧西有田町の合併効果を活かし、食文化や窯元・商家・棚田の景観と折々の季節行事などの地域資源を複合した取組みを構築し、生産からマーケティングに基づいた製品の販売、もてなしによる交流観光へと活動を広げ、地域経済の維持向上と後継者の確保を図る。				○ 産学官連携・後継者確保	○ 既存地域資源を複合した取組みによる地域活性化	○ 地域資源を活かした交流観光		
21	佐賀県	唐津市	唐津みなとまちづくり懇話会	唐津の海辺の魅力を活かした観光振興事業	地元の数多くの分野の団体が結集して大学との連携を図ることで、実務・知識・活力を合わせた強力な実施体制を構築し、海辺の魅力を内外にアピールするために観光モデルコースを設けたり、イベントや講習会を通じて市民へのPRと指導者の育成を図り、それらの浸透による交流人口ひいては定住人口の増加を目指す。				○ 地域の魅力をアピールする観光モデルコースの設定や市民へのPRと指導者育成	○ 地元団体と大学との連携による交流人口と定住人口増加			
22	長崎県	壱岐市・対馬市	離島地域高度情報化協議会	情報通信サービスを活用した離島地域の活性化プロジェクト	離島のコミュニティ維持・産業誘致のため、整備が遅れている高速情報通信サービスを提供することにより、既存企業の事業拡大・新規事業の展開等により地域の産業再生を図るとともに、離島の住民生活を支える医療分野等への利用拡大を図ることにより、条件不利地域の活性化のモデルプランを目指す。		○ 離島		○ 高速情報通信サービスによるコミュニティ維持・産業誘致、医療充実	○ 高速情報通信サービスを活用した地域産業再生			
23	長崎県	佐世保市	佐世保三ヶ町商店街振興組合	「アメリカ in SASEBO」コミュニティ環境構築による地域活性化	来訪者の伸び悩む商店街において、米軍基地と共存する地域特性に着目し、きめ 細かい対応が可能な英語サービス案内体制の構築や、商店街自らの英語コミュニケーション能力の向上により、米・邦来街者が共に楽しめる新しい賑わいの街(アメリカを感じられる街)づくりを進め、商店街の個性化による再生を図る。				○ 米軍基地との共存による英語環境を利用した商店街の個性化と再生				
24	熊本県	八代市	熊本県いぐさ・量活性化連絡協議会	日本のたたみ復活プロジェクト	海外産量表の流通により低迷する八代産の畳表に、QRコードを付すことにより生産者の顔が見え、消費者が安全・安心で高い品質を感じられる新たな仕組みを導入するとともに、マーケティングや品質管理を徹底し、国際競争の中で差別化・ブランド化を実現する地域伝統産業の復活モデルを構築。				○ 地域伝統産業の復活モデルを構築	○ 業界団体により差異を国際競争の中で差別化・ブランド化			
25	熊本県	上益城郡山都町	国立大学法人熊本大学	リスクコミュニケーションとコミュニティバス活用による限界集落の機能再生プロジェクト	山間の過疎において、山都町住民及び職員と熊本大学の防災まちづくりグループのスタッフが連携し、地域防災教育及び避難情報伝達システムの開発を行い、コミュニティバスを利用した活動を通じて集落間連携での防災体制を確立し、限界集落を抱える地域の活性化と再生を目指す。	○ 過疎集落	○ 中山間地域	○ 地域防災体制の確立	○ コミュニティバスを活用した集落連携による地域の活性化と再生	○ 住民、行政、大学が連携した地域防災教育及び避難情報伝達システムの開発	○	熊本大学により、過疎化が進む中山間地域における大きな課題である防災面への取り組みとして、ハイテク技術を利用した避難情報伝達システムや災害弱者の安否確認システムの構築等が行われている。 また、この取り組みは、町営コミュニティバスを集落間の交流や防災教育及び早期避難時に活用し、コミュニティバスの認知度の増加と活用を行うものでもあり、今後の集落における防災と公共交通の維持を検討する上での参考となる。	
26	大分県	別府市	別府市元気再生協議会	多様なNPOの連携による新しいスタイルの滞在プログラムの創出事業	短期観光が増加する地域にあって、都市部シニア層を対象とした農村体験など体験型の中長期滞在観光プランやバリアフリー観光プランなど来訪者の裾野を広げる新たな観光プランの提供により観光産業の活性化や雇用の創出を図る。				○ 新たな観光プラン提供による都市シニア層を対象とした新しい観光産業創出	○ NPOの連携による都市シニア層を対象とした新しい観光産業創出			
27	大分県	由布市湯布院地域	湯布院サステナブルツーリズム協議会	湯布院サステナブルツーリズムプロジェクト	急速な観光地化が進む地域にあって、乱立する看板の排除など景観に配慮した街並みの保存や交通混雑の解消などを図り、本来の地域の特徴を取り戻しつつ観光産業の持続ある発展を図る。				○ 町並み保存や交通混雑緩和	○ 本来の地域の特徴を取り戻しつつ観光産業の発展			
28	宮崎県	綾町	食農と工芸と環境融合型の町づくり推進協議会	「スローフード運動による食農と工芸と環境融合型の町づくり推進」事業	自然環境が豊富に残る地域にあって、先駆的に導入した有機農法による農作物を利用したスローフード体験やファクトリーツーリズム(手作り伝統工芸品の製作体験)など、スローライフを体感できる観光プランの提供により、地域独自の新たな産業・雇用の展開を図る。		○ 中山間地域	○ 先駆的な有機農法の導入	○ スローフード体験やファクトリーツーリズムによる新産業創出と雇用促進				
29	宮崎県	宮崎市青島地区	特定非営利活動法人サンシティ宮崎	シニアタウン構想 リフレッシュライフ in 青島プロジェクト	旧来型観光産業の衰退、地域の高齢化の進展にあって、文化・レクリエーション活動など、高齢者の「生きがいづくり」の企画やコミュニティを確保する共同生活などの実践をと おし、県内外からの高齢者の定住・二地域居住を受け入れ、シニアが主役たるシニアタウンの形成を図る。				○ 高齢者の「生きがいづくり」の企画やコミュニティを確保	○ 県内外からの高齢者の定住・二地域居住			
30	鹿児島県	指宿市	鹿児島県健康保養地域活性化協議会	長寿の国 かがしま発「平成版 IT 湯治」～健康な私を見つけ、もっと元気に私になる旅～	地元の食材を生かした低カロリー食、ウォーキング、砂むし入浴等を組み合わせた滞在プログラムを提供するとともに、身体状況計測機器・ICTを活用して滞り者の健康状態を計測し即時的に食事・運動のアドバイスなどを行う「平成版 IT 湯治」の商品化を進め、健康保養滞在型の観光地づくりを進める。				○ 地域資源を活用した滞在プログラムの開発	○ IT技術を活用した健康保養滞在型の観光地づくり			
31	鹿児島県	鹿児島市いづろ・天文館地区	中央地区商店街振興組合連合会	「薩摩天まちまつり」～鹿児島の資源発掘・発見～ 調査	九州新幹線全線開通を控え、激化する都市間競争に対応し、鹿児島の資源を「発掘・発見」することにより、県都における地産地消の促進を先導し、鹿児島ならではの生活文化や人に優しい環境の創造、集客力の向上を図り、中心市街地活性化をリードする。				○ 商店街による中心市街地の活性化	○ 地域資源を活かした優しい環境の創造と集客力の向上			
32	鹿児島県	南さつま市	鹿児島県南さつま市	海と大地の資源を活用した産業創出モデル事業	南さつま市南西部の変化に富んだリアス式海岸線等の雄大な景観を眺望する施設や関連する周辺施設の連携を図り、特色ある観光資源を有機的に結びつる旅行商品やバスの実験的運行により、各施設間の回遊性を高めるとともに全国に地域の魅力を発信し、過疎化の進行する本地域の活性化を図る。				○ 地域周辺観光資源連携による地域活性化	○ 新しい旅行商品や新バス路線により、地域の魅力を全国に発信			